

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 62

NAOHARU TODA

OGAKI CHAMBER OF COMMERCE
KURUWAMACHI OGAKI GIFUKEN JAPAN



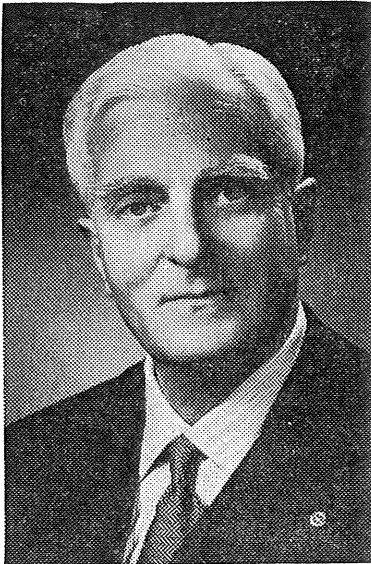
NO. 3

昭和31年8月15日 (August, 15, 1956)

第62区ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー 戸田直温
第62区ガバナー



Gian Paolo Lang

○ 国際ロータリー会長ジャン パオロ ラング (Gian Paolo Lang, President, R.I.)

国際ロータリー 1956—57 会長ジャン パオロ ラングは
伊太利 リボルノ (Livorno) で生れ、リボルノ商工大学

を卒業して後 東アフリカ、ケニア植民地モンパツサに十年居住し、此所で伊太利名誉領事を勤めた。1936年にリボルノ・ロータリークラブ会員となり、後ロータリー地区ガバナー理事並びに副会長を務め、今回 会長に選任せられた。現在リボルノのルイギラング (Luigi Lang) 商社の経営者である。英語、仏語には堪能であつて穩健真摯なる人物である。

○ Keep Rotary Simple.

ラング会長は就任すると共に 1956—57 の目標の第一に Keep Rotary Simple と 431,000 の世界の全ロータリアンに呼びかけた。曰くロータリーは茲に五十二年を迎へて実に偉大なる発達を遂げ、尙益伸展の勢にあるが同時に吾々は警戒をせねばならない。即ち大を為すと共に、危険な要素を伴ひ勝ちのものである。此点に深く思を致さなかつたならば ロータリーの真の精神、目的より逸脱する虞もある。吾々はロータリーの外形に、或は不要なる瑣事に囚はれて 真の目的を忘れ勝ちになり易い。私は信ずる。単純なる方式こそ最善である。吾々は只謙虚に奉仕と友好親睦の精神を貫かんとするものである。夫れには吾々は 純真でなければならぬ。簡明を必要とする。

之れ私が第一に 凡てのロータリアンに先づ提唱する語であると。誠に至言である。徒らに布衲して外形を飾り、或は不必要なる些事を説く如きは避けて 真に奉仕の道に生きねばならぬ。吾々はラング会長の説く真の意を体して素朴に、純真に 奉仕の理想に燃えて友好の精神を貫かう。動もすればロータリーは世の誤解を招く事往々にもあると聞く。誠に寒心に堪えない。吾々ロータリアンは華を避け実に就いて 真に奉仕の理想に私を超えて進むべきである。



Herbert J. Taylor

○ ハーバート ジェー テイラー来日

(Herbert J. Taylor Will Come to Japan)

ラング会長より 今秋開かるべき日本の国際ロータリー各地区大会には 会長代理としてハーバート ジェー テイラーを派遣する旨の来状があつた。

ハーバート ジェー テイラーはシカゴのクラブ アルミニウム生産会社の重役会の会長で、其他クリーブランドのモナークアルミニウム製造会社、シカゴ信用組合 パーリントン第一国立銀行等の重役である。第一次世界大戦の際には米国海軍の将校として出征し、第二次世界大戦に於ては 政府の物価調整委員会の副委員長であつ

た。又アルミニウム器具組合や米国経営者協会の理事でもあり、少年には特別の愛着心を有し 米国最大のボーイス キャンプのスポンサーの一員である。

現在シカゴロータリークラブの会員であつて、1954—55の国際ロータリーの会長を勤め、今は国際ロータリー奨学財団の1955—60の管理者である。吾々ロータリアンの信条とするフオアー ウエイ テスト(Four Way Test)の作者である事は余りにも有名であつて、又良き市民の心得十ヶ条(Ten Marks of a Good Citizen)の作者である。私達はレーキプラシッドの国際協議会で度々お目に掛つて其知遇を得た。其節今秋の大会に來日を懇請しておいたが、容れられて其実現を見るのは実に日本のロータリアン凡ての此上もない喜びとする所であつて、大に歓迎して日本のロータリーの伸展の状態と 日本のロータリアンの純真、真摯である所をよく見て頂き、又フオアー ウエイ テストの真の講演を 直接聴く事に致し度く今より大に鶴首して待つ次第であります。

○ 地区の再編成 (Re-grouping of the Districts)

8月4日東京に小林、宮脇、柳瀬元ガバナー、小松、伊藤前ガバナー及び 伊藤第60区ガバナーと私、其外、関係クラブの会長等参集、R. I. 本部で企画して居る1957年7月1日から 世界全地区の番号改称に伴い、第60区、第62区の区域変更の必要の有無に付き協議しました。其結果現在の第60区は之れを二つに分割して 北海道及び東北奥羽六県を一地区とし、 残りの東京都、千葉、茨城、埼玉、群馬、栃木及び新潟の一都六県に 第62区の神奈川及び山梨の二県を合せて一地区とし、 第62区は静岡、愛知、三重、岐阜、長野、石川及富山の七県とする事に 打合せた。此打合せの結果に基き 各ガバナーは夫れ夫れ関係クラブ会長の意見を求めて今秋の地区大会に附議し、其上でR. I. 本部に地区再編成に就き其結果を申し述べる事に致しました。尙、来年7月1日から世界の凡ての地区(District)の番号が変り100代から始まり 700代で終る事になつて居ります。日本は300代が冠せられて第62区は第360区、第63区は第365区、第64区は第370区となる事になつて居ります。

○ 公式訪問の感想 (Some Impression on Official Visits)

七月中には大垣、尾西、桑名、上野、一宮の五クラブを公式訪問致しました。炎暑に拘らず各会員多数お集り下さつて凡て熱心に報告をされ、又充分御懇談する事を得たのは大に悦びとする所で諸君にも厚く御礼申し上げます。大垣クラブは盲人及び精薄弱児の教養に大に力を注いで其成績を着々挙げて居られますが、R. I. 本部からも之れに付いて大に推奨して参りました。尚一層成果を挙げる様に努力願います。尾西クラブに於ては免囚者保護に付いて司法保護司と相談せられたとの事ですが、免囚者の保護は非常に重要な事で、之れが怠られて居るものですから彼等も世を白眼視して再び悪の世界に沈淪し勝ちでありますから、折角御考へになつた以上は是非実行に移して免囚者の教化保護に成果を挙げられたい。桑名クラブは村上会長が大に計劃に富んで居られる為め、プログラム委員長を忤して已に今年十二月までの各例会に於けるプログラムを作つて居られた。各Speechも大にVarietyに富んで居る様に拝見した。田舎の小クラブで一番困るのは各例会のスピーチであります。此点桑名クラブで半年間のプログラムを多様に建てられたのは実に多とする処である。各部門に就いても等しく計劃を建てられる事だと信じて居ります。上野クラブの須田副会長はクラシフィケーション農業で真の農業人である。日本のロータリーは社会奉仕部門に於て農業関係との接触が甚だ少い様に感ぜられる。須田副会長は農家の青少年との関係を大に深めたいと強き御意見であつたが是非此点に於て新天地を開く様篤にお勧めしておいた。一宮クラブは其地方が繊維産業の街であるので「奉仕こそ我が務め」と「フオアー ウエイ テスト」を会員の経営して居られる工場の従業員に洽く配付せられて居りますが、事宜に適した企てですが奉仕の精神が各従業員に一層徹底する様に努力願いたい。青少年の不良化防止の為め学校及び警察と連絡を取つて之れに協力して居られますのは現在の世相に於て最も有意義な事です。是非其効果を挙げて頂きたい。

何れのクラブに参りましても、お集りの諸君は皆熱心

に真面目に研究的態度であるのは実に嬉しく思う処であります。ラング会長は須くロータリアンは純真簡明であり、又もつとロータリーをと強く述べて居ります。徒らに外形に拘る事なく、ロータリーの会合の席上のみならず常住坐臥ロータリーの目的たる奉仕友好の理想を内に省みて服膺し固く身に付けられたい。新会員又古き会員でもロータリーの真の精神を会得せられてないならば、之れは会員相互に戒しめ合つて真にロータリー精神、理想を体得する様に心掛けられる様切望して止みません。

○ 第62区年次大会 (Annual Conference of 62 District)

第62区年次大会は 今秋10月13—15日横浜クラブがホストクラブとして横浜で開催する事に決定して居り、已に横浜クラブから各クラブへ案内状と大会プログラムが送られて居ります。前にも述べました如く会長代理として元会長ハーバート ジェー ティラーが此大会に参列、講演される事になつて居ります。会員は家族同侪殊に新しい会員は振つて出席せられる様特に望みます。横浜クラブではホストクラブとして大会の準備やら参集会員諸君の歓迎に遺憾のない様懸命に努力せられて居ります。大に感謝する次第で、必ずや盛会で成功されるものと信じて居ります。尚 大会に於ける委員は下記の如く御委嘱申し上げます。宜しく御協力を願います。

プログラム委員	長	東久世昌枝
荒川長太郎 (名古屋)	柿下正道 (金 沢)	
川井健太郎 (静 岡)	大野藤之助 (熱 海)	
決 議 委 員	長	柳瀬省吾 (パストガバナー)
伊藤次郎左衛門 (パストガバナー)		
清水武雄 (蒲 郡)	西口利平 (四日市)	
鱈 正太郎 (静 岡)		
資格審査委員	長	丹波恒夫 (横 浜)
馬瀬金太郎 (富 山)	村上治朗 (岐 阜)	
岡野豪夫 (沼 津)	清水喜孝 (甲 府)	
選 挙 委 員	長	盛田秀平 (名古屋)
神野太郎 (豊 橋)	川井健太郎 (静 岡)	
川喜田壮太郎 (津)	牧野平五郎 (富 山)	
部門別デイスカッション		

会務奉仕 A リーダー 滝 兵右衛門(名古屋)
 アドバイザー 盛 田 秀 平(名古屋)
 会務奉仕 B リーダー 小 林 完(沼 津)
 アドバイザー 川 井 健 太 郎(静 岡)
 社会奉仕 リーダー 野村太三次郎(高 岡)
 アドバイザー 戸 田 良 直(大 垣)
 職業奉仕 リーダー 野 根 長 太 郎(金 沢)
 アドバイザー 根 本 茂(川 崎)
 国際奉仕 リーダー 内 藤 卯 三 郎(岡 崎)
 アドバイザー 小 室 健 夫(名古屋西)
 クウン ミーティング
 モデレーター 柳 瀬 省 吾(横 浜)
 パネル 伊藤次郎左衛門(名古屋)
 " 神 野 太 郎(豊 橋)
 " 野村太三次郎(高 岡)
 " 小川三左衛門(伊 勢)

○ 1956—57年度国際ロータリー委員 (Committees of R. I. in 1956—57)

表題の委員(日本よりの分)には下記の諸氏がP. I. 本部で指令されました。

顧問委員会 (Consultative Group)

会務奉仕 (Club Service) 伊藤次郎左衛門(名古屋)
 1958国際大会 (1958 Conveution) 小松 隆(東京)
 1956太平洋大会 (1956 Pacific Conference)

小林雅一(東京)

ロータリー インフオーメンション カウンセラー

(Rotary Information Cuncelor) 小 松隆(東京)

伊藤前ガバナーは会務奉仕部門の顧問(Consultant)に指令されましたら 会務奉仕部門に於て質疑が生じた場合又は之等に関し指示を仰ぐ必要の起つた際には、各クラブでは伊藤前ガバナーに 直接指導を仰ぐ様にせられたく。R. I. 本部よりも左様の指示がありました。

○ インターシティ フォラム (Intercity Forum)

岐阜県下各ロータリークラブのインターシティ フォラムは、9月13日 岐阜市で岐阜クラブがホストクラブとし

て開催する事に決定しました。岐阜県内各ロータリークラブへは岐阜クラブから 御案内状を差し上げる事にして居ります。会長、幹事、各部門委員長は勿論会員も多数出席される様切望します。フオラムリーダーには伊藤前ガバナーをお願いする事にR. I. 本部に申請中で、各部門ディスカッション リーダーは夫れ夫れ御委嘱申し上げますから、宜しく御協力願います。尙各県毎にインターシティ フォラムを開催して頂き度く、当番クラブでは至急場所及び月日を各クラブと御協議の上 私の方へ御申出でを願ひ度く、之れに依り御協議の上決定したいと思ひます。尙 山梨県は静岡県に、長野県は愛知県に合同して頂くが宜しいかと思ひます。又北陸は石川、富山両県合同で開いて頂いて宜しいと思ひます。

○ 承認状伝達式 (Charter Nights)

承認状伝達式チャーターナイトは 下記の予定で行はれる事になりました。何れ夫れ夫れ各クラブから案内状が差出されますが、各会員は新クラブの誕生を祝して多数振つて参加、盛大なるチャーターナイトである様御協力を望みます。

クラブ名	所	月 日
飯 田	飯 田 市	9 月25日
松 本	松 本 市	9 ・ 29
美 濃	美 濃 市	10 ・ 21
尾 西	尾 西 市	10 ・ 28
多 治 見	多治見市	11 ・ 3
伊 東	伊 東 市	12 ・ 9

序でに 高山クラブのチャーターナイトは去る7月15日高山で行はれましたが、参加会員、其家族等で600名に近き高山市初めての盛会で、其秩序正しいロータリアンの会合であつたのには 高山市民もロータリーに対して其認識を新にしました。大会の席上岐阜クラブの遠藤健三君の発案で 参加一家族毎に金 500 円の醸金をして高山クラブに贈る事に相成り、満場大喝采の下に直に籠が廻され 162,500 円が立ち所に集り、高山クラブ会長に贈呈しました。之れで以て乗鞍山上に何か記念のものを建てる事になりました。斯くてこそチャーターナイトも実に有意義となり奉仕の理想の現れとなります。私は遠藤健三君の動議並に之れに 直に協力して下さつた参加各会員諸君に厚く感謝するものであります。

○ 公式訪問予定 (Schedule of Official Visits)

8月中の公式訪問を下記の如くに決定 夫れ夫れ御都合伺つて居ります。例会時間を変更願つて公式訪問を一日で終りたいと思います。宜しく御協力願います。

クラブ名	月 日	会長幹事 懇談会	クラブ 協議会	例 会
小田原	8月6日	午後2—3時	午後3—5時	午後6—7時
岡崎	8・15	"	"	"
豊橋	8・16	"	"	"
津島	8・17	"	"	"
名古屋	8・21	"	"	"
多治見	8・22	"	"	"
名古屋	8・23	"	"	"
古屋	8・28	"	"	"
伊勢	8・29	午後1—2時	午後2—4時	午後5—6時

○ ロータリー財団奨学資金寄附 (Rotary Foundation Fund)

ロータリー財団奨学資金寄附の払込を受けました分は次の通りであります。御協力を感謝致しますと共に尙一

層の御支援を願います。

クラブ名	拠金額	新会員	旧会員	クラブ名	拠金額	新会員	旧会員
豊橋	¥ 7,200	2	—	津島	¥ 9,360	—	26
藤沢	3,600	1	—	岐阜	14,400	4	—
高山	108,000	30	—	川崎	64,800	18	—
横浜	28,800	8	—	半田	10,800	3	—
熱海	9,000	—	25	横須賀	7,200	2	—
刈谷	10,800	3	—	岡崎	3,600	1	—
大松	3,600	1	—	合計	¥309,600	77	90
	28,440	4	39				

註 拠金額 新会員は@ \$ 10、旧会員は@ \$ 1

謹 告

浜松クラブ松島保吉君 並に 静岡クラブ江河勝太郎君には、6月18日及び7月31日に夫々御逝去せられました。

茲によき友を失いましたことを Rotarian として深くお悼み申し上げます。

第62区1956年7月分出席率表

今月 順位	クラブ名	例会 数	今月末 会員数	対期初 増 減	出席率 算出上 の 会員数	出席率	今月 順位	クラブ名	例会 数	今月末 会員数	対期初 増 減	出席率 算出上 の 会員数	出席率
1	高 岡	4	34	=	34	100.0%	24	半 田	4	30	=	30	93.3%
2	四 日 市	4	52	=	52	99.5	25	甲 府	5	39	=	39	93.3
3	沼 津	4	45	=	45	99.5	26	大 垣	4	36	=	36	92.4
4	横 須 賀	4	36	=	36	99.3	27	小 田 原	5	31	=	31	92.3
5	横 浜 東	4	32	=	32	99.1	28	横 浜	5	95	=	92	92.1
6	浜 松	5	40	=	40	98.5	平均出席率.....						92.08
7	伊 勢	5	30	=	30	98.2	29	七 尾	5	19	=	19	91.6
8	川 崎	4	52	=	52	98.1	30	刈 谷	5	27	=	27	90.8
9	津 島	4	26	=	26	98.1	31	津	4	35	=	35	90.7
10	藤 沢	4	24	=	24	97.9	32	金 沢	4	72	=	72	89.2
11	清 水	5	38	=	38	97.9	33	蒲 郡	4	25	=	25	89.0
12	豊 橋	4	47	=	46	97.8	34	高 山	4	29	=	29	88.8
13	桑 名	5	36	=	36	97.7	35	吉 原	4	33	=	33	88.6
14	岡 崎	4	35	=	35	97.2	36	尾 西	5	20	=	20	87.0
15	多 治 見	4	25	=	25	97.0	37	静 岡	5	48	=	47	86.8
16	名古屋西	4	47	=	47	96.8	38	美 濃	4	21	=	21	86.7
17	一 宮	4	35	=	35	96.4	39	礪 波	5	27	=	27	83.0
18	岐 阜	4	49	=	49	95.9	40	松 本	5	32	=	32	82.3
19	熱 海	4	24	=	24	95.8	41	飯 田	4	25	=	25	76.0
20	名 古 屋	5	112	=	110	94.6	42	小 松	4	35	=	35	74.3
21	富 山	5	47	=	47	94.4	43	上 野	5	34	=	34	74.1
22	松 阪	4	39	=	39	94.2	44	魚 津	4	23	=	23	71.1
23	伊 東	5	27	=	27	94.0	台 計						92.08

第62区 前年度1ヶ年平均出席率表 (自1955年7月 至1956年6月)

(註) 年間平均の総平均は夫々上半期と下半期の平均を二等分した

ク	ラ	ブ	名	1955年 6月末会員数	1956年 6月末会員数	上半期 平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	下半期計	年間平均	順	位	
津高川横沼岡豊一熱伊	須	島	岡	23	26	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	600.0	100.0	99.9	1	
		高	川	33	34	98.7	98.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	598.6	99.8	99.2	2
		横	濱	42	52	99.4	98.9	100.0	99.5	99.0	97.5	98.1	98.1	593.0	98.8	99.1	3
		沼	津	40	38	98.3	100.0	100.0	99.5	99.4	97.6	97.9	97.9	594.4	99.1	98.9	4
		岡	豊	47	46	98.8	97.3	96.7	97.6	98.5	99.6	99.6	99.6	589.2	98.2	97.5	5
		豊	宮	35	46	98.2	100.0	100.0	99.1	97.9	96.1	93.6	93.6	586.7	97.8	97.9	6
		一	熱	43	46	97.2	97.8	100.0	97.7	98.3	98.9	98.9	98.9	591.6	98.6	97.9	7
		熱	宮	33	35	97.6	96.2	99.2	99.4	97.9	97.1	97.1	97.1	586.9	97.8	97.7	8
		伊	勢	22	25	97.1	95.9	94.0	96.8	98.0	100.0	95.2	95.2	578.0	96.3	96.7	9
		伊	勢	33	30	97.8	95.9	96.7	93.4	97.4	93.4	97.4	94.2	572.6	95.4	96.6	10
名藤浦富横浜四松	古屋	西	沢	44	48	97.4	97.4	94.1	90.8	94.9	96.9	97.9	572.0	95.3	96.4	1	
		名	屋	25	25	94.3	98.0	97.8	98.8	99.1	97.0	99.0	589.7	98.3	96.3	2	
		藤	名	23	26	97.2	98.9	97.8	95.7	97.0	93.1	88.5	570.5	95.1	96.2	3	
		浦	富	43	45	96.2	94.7	96.1	96.7	95.0	92.5	92.2	567.2	94.5	95.4	4	
		横	浜	27	32	93.3	100.0	100.0	98.0	95.8	95.0	94.8	583.6	97.3	95.3	5	
		四	松	43	41	95.3	96.5	93.0	95.6	97.6	97.1	98.8	569.2	94.9	95.1	6	
		松	市	43	52	95.1	96.5	96.0	92.7	95.2	95.1	92.8	568.3	94.7	94.9	7	
		阪	市	34	39	94.4	92.5	91.5	95.6	90.8	91.3	93.6	555.3	92.6	93.5	8	
		四	松	32	35	93.7	92.9	88.6	92.9	94.0	94.6	94.3	557.3	92.9	93.9	9	
		松	市	45	49	93.7	95.0	92.1	93.5	88.6	92.9	91.6	553.7	92.3	93.0	10	
甲岐上桑名刈大金横半清静小吉魚	古	府	草	30	34	93.8	93.7	92.1	90.0	91.2	93.5	91.9	552.4	92.1	92.9	1	
		岐	上	33	36	93.1	91.4	90.9	88.9	91.5	93.1	95.8	551.6	91.9	92.5	2	
		桑	名	11	11	90.6	93.1	94.4	91.0	92.5	93.4	94.0	558.4	93.1	91.8	3	
		名	刈	28	29	91.6	91.7	89.8	91.7	91.9	92.6	90.4	548.1	91.4	91.5	4	
		大	金	33	36	91.6	89.8	91.1	89.8	88.6	88.3	93.8	546.7	91.1	91.3	5	
		金	横	58	69	92.0	86.4	90.6	88.9	91.3	91.6	90.2	539.0	89.8	90.9	6	
		横	半	81	91	90.5	91.4	90.4	90.6	91.8	90.4	90.7	545.3	90.9	90.7	7	
		半	清	30	30	90.0	91.7	87.3	87.3	84.7	82.5	94.2	532.6	88.8	89.4	8	
		清	静	36	36	86.4	90.0	86.5	89.0	90.9	93.9	91.0	551.5	91.9	89.1	9	
		静	小	45	48	89.7	93.4	86.5	89.0	89.2	86.8	84.4	529.3	88.2	88.9	10	
小七磯高尾山西東濃本見田	田	小	吉	31	27	89.3	87.4	92.2	90.3	91.0	91.8	95.5	548.2	91.4	90.3	1	
		吉	魚	24	24	88.3	83.1	83.9	84.0	89.3	93.1	90.2	523.6	87.3	87.8	2	
		田	原	20	22	80.1	78.8	80.0	80.2	72.6	84.5	80.0	476.1	79.4	79.7	3	
		田	原	4	4	75.6	77.6	62.5	69.4	78.5	83.4	80.9	452.3	75.4	75.5	4	
		小	磯	22	22	76.7	81.1	84.5	84.5	84.5	91.4	86.4	512.4	85.4	82.5	5	
		高	尾	27	27	92.8	87.1	94.6	92.9	94.1	93.5	72.9	556.6	92.8	92.8	6	
		山	西	28	28	—	78.9	83.3	75.6	74.8	72.3	85.0	457.8	76.3	76.3	7	
		東	濃	20	20	—	90.0	88.8	83.8	81.0	83.8	91.4	512.4	85.4	85.4	8	
		濃	本	26	26	—	—	—	88.5	95.8	90.5	88.6	366.2	91.6	91.6	9	
		本	見	21	21	—	—	—	—	—	88.9	81.5	177.5	88.8	88.8	10	
平	均	見	田	31	35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
		田	多	25	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	
平	均	均	1,306	1,662	560.6	93.4	92.5	92.5	91.8	92.3	92.8	92.5	554.4	92.4	92.9	3	